



2024年4月3日

株式会社THEグローバル社向けシンジケーション方式による ポジティブインパクトファイナンスの取組みについて ～「TSUBASAアライアンス」連携施策～

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2024年3月29日（金）、株式会社THEグローバル社（代表取締役社長 岡田 圭司）に対し、「TSUBASAアライアンス」^{※1}で連携する第四北越銀行（頭取 殖栗 道郎）、武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）、群馬銀行（頭取 深井 彰彦）とともに、シンジケーション方式のポジティブインパクトファイナンス（以下「PIF」）を実行しましたのでお知らせします。当行がシンジケーション方式によるPIFを組成するのは、初の取組みとなります。

PIFは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブならびにネガティブな影響）を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、SDGsの達成を目指す融資手法です。

融資検討時に実施する評価は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同で行い、事業者さまのKPI（目標）設定やその進捗管理を支援します。なお、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見^{※2}を取得することで客観性を担保します。

貸出先のTHEグローバル社は、「新しい発想、新しい挑戦、新しい行動。」を経営基本方針に掲げ、時代の変化をいち早く捉えながら、他にはない価値、他にはないサービスを創造するOnly One企業を目指しており、PIFの取組みにより、サステナビリティ経営の高度化を進めていきます。

当行グループは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、事業者さまのサステナビリティ経営および企業価値向上への貢献を目指すとともに、地域社会のパートナーとして、社会・環境課題の解決に資する取組みを一層推進し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指してまいります。

※1 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。（URL：<https://tsubasa-al.co.jp>）

※2 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。（URL：<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>）

以上

【株式会社THEグローバル社向け「ポジティブインパクトファイナンス」の概要】

貸出先	株式会社THEグローバル社		
代表者	代表取締役社長 岡田 圭司		
所在地	東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 18 階		
契約日	2024年3月27日(水)		
融資実行日	2024年3月29日(金)		
融資形態	タームローン(シンジケート・ローン方式)		
アレンジャー	千葉銀行		
貸出金融機関	千葉銀行、第四北越銀行、武蔵野銀行、群馬銀行		
第三者意見	株式会社日本格付研究所		
融資金額(用途)	9億円(運転資金)		
融資期間	5年		
評価内容	領域(テーマ)	取組内容およびKPI(目標)	関連するSDGs
	環境 (エネルギー、気候、資源効率・安全性)	<ul style="list-style-type: none"> 新築物件(全物件)内で使用する再生可能エネルギー割合の向上 新築物件(全物件)を対象としたEV充電設備の導入割合の向上・収益マンションにおけるZEH-M取得率の向上 収益マンションにおけるZEH-M取得率の向上 リサイクル製品の活用、省CO2資材の導入促進 	  
	社会・環境 (住居、気候)	<ul style="list-style-type: none"> 新築分譲マンションにおけるZEH-M Oriented 取得率の向上 	 
	環境・経済 (気候、経済収束)	<ul style="list-style-type: none"> 新築物件に占める省CO2資材を使用した物件割合の向上 	
	社会 (保健・衛生、雇用)	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営優良法人認定の維持 「モチベーションクラウド」におけるエンゲージメントスコアの向上 	  
その他	上記KPIについては当行を含む貸出金融機関とちばぎん総合研究所が共同し、その進捗状況について年1回モニタリングを行うことで、融資実行後も貸出先の伴走支援を行ってまいります。		